

数 学 科 (1 学 年)

週時間数 4 時間

1 学習の手引き

使用教材	・教科書、ノート、ワーク、タブレット、計算練習帳
学習の進め方	・本時の「めあて」の見通しを持って、課題解決に粘り強く取り組む。 ・「なぜ」「どうして」を大切に、自分の考えを互いに伝え合い、数学的に考察し、表現する。 ・授業で明らかになった数学的な性質や解決の手立てを用いて、課題解決をする。 ・家庭学習を通して授業の振り返りを行い、ワーク等を利用して学習を深める。

2 学習の内容

学期	月	題 材	学習内容	評価材料とするもの
前 期	4 月	○1章 正の数・負の数	・正の数・負の数 ・正の数・負の数の計算 ・正の数・負の数の利用	・定期テスト ・小テスト（単元末テスト） ・学習の振り返りの内容 ・発表、発言の内容 ・提出物（ワーク、ノート、プリント等）の内容
	5 月			
	6 月	○2章 文字の式	・文字を使った式 ・文字式の計算	
	7 月	＜夏休み＞		
	9 月	○3章 方程式	・方程式 ・方程式の利用	
		○4章 変化と対応	・関数	
後 期	10 月		・比例 ・反比例	
	11 月		・比例・反比例の利用	
	12 月	○5章 平面図形	・直線と図形 ・移動と作図	
		＜冬休み＞		
	1 月	○6章 空間図形	・円とおうぎ形 ・立体と空間図形 ・立体の体積と表面積	
	2 月			
	3 月	○7章 データの活用	・ヒストグラムと相対度数 ・データにもとづく確率	

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	評価方法
知識・技能	・数学における基本的な概念や法則を理解することにより、数学的に表し、処理する技能を身に付けている。 (数学用語を理解し、きまりを用いて基本的な計算を行ったり図表に表したりすることができる。)	・定期テストや小テストの点数により、知識と技能それぞれの観点から総合的に判断する。
思考・判断・表現	・数学を用いて、論理的に考察することができる。 ・数量や図形などの性質を見出し、発展的に活用したり数学的な表現を用いて説明したりすることができる。	・定期テストや小テストの点数により、思考・判断・表現の観点から総合的に判断する。 ・授業での発表内容やプリント等に書かれた考察から判断する。
主体的に学習に取り組む態度	・身に付けた知識や技能、思考・判断・表現力を用いて、自らの学習を調整しながら、粘り強く学習に取り組んでいる。 (ワークやノートを用いた練習や復習、提出課題への取り組み、授業への積極的な参加などを含む。)	・授業に取り組む姿勢や提出課題の内容、学習の振り返りから総合的に判断する。